

1 国語に関する調査

【特長】

- ・相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現をすることができるかどうかを見る問題がよくできている。話し合いや、プレゼンテーションの学習機会を設け、工夫して発表する学習活動に取り組むことによって、「話す、聞く」力が身に付いてきていると考えられる。
- ・文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができる。様々な文学的文章を多角的に読むことで、「読む」力が身に付いてきていると考えられる。

【課題】

- ・文脈に即して漢字を正しく使うことができるかどうかを見る問題の正答率が低い。ただ漢字を覚えるだけでなく、同音異義語など漢字の意味を大切に文脈に即して漢字を書けるように指導する必要がある。
- ・資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるよう書く問題の正答率が低い。生徒が目的に応じて文章を書く機会をさらに設け、様々な技法を学び実際の文章で活用できるように指導する必要がある。

2 数学に関する調査

【特長】

- ・必ず起こる事柄の確率について、チャレンジする意欲が見られ、無解答率が低い。確率では図や表を正確にかき、正しく解くことができている。
- ・図形の問題については、証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角の関係を見いだすことができおり、問題場面を正しく理解できている。

【課題】

- ・基本的な数学の用語の意味が理解できていない生徒が多い。既習事項を丁寧に扱っていき、関連する分野においても定着を図りたい。
- ・数学的な表現を用いた説明などの記述式の問題は、特に無解答率が高い。指導方法を工夫して、答えだけでなく、過程を表現できる力を授業の中で身に付けさせたい。

3 理科に関する調査

【特長】

- ・気体の性質に関する知識が概念として身に付いており、その知識を実験や問題解決の場面で活用する力が見られる。

【課題】

- ・実験や観察において、得られた結果と既存の知識とを関連付けて、科学的に分析し、解釈することに課題がある。実験や観察において見通しを持ち、検証できる仮説を設定することができる力を育成する学習活動を充実させていく。

4 生徒質問紙の結果より

【特長】

- ・ 普段（月曜日から金曜日）の授業時間以外の学習時間が比較的長いと回答している生徒が多い。日頃からタブレットなどのICT機器を使う生徒も見られ、学習する習慣が身に付いていると考えられる。
- ・ 自分にはよいところがある、先生はあなたのよいところを認めてくれると回答している生徒の割合が高く、自己肯定感や自己有用感を感じていると考えられる。

【課題】

- ・ 学習時間について、平日の授業時間以外の学習時間は比較的長い、一方で学校が休みの日の学習時間は比較的短い。休みの日においても生徒が家庭でじっくりと学習に取り組めるよう学習課題を工夫し、引き続き家庭学習の意義を粘り強く指導していく。
- ・ 読書が好きである生徒は一定数いるが、新聞を読む生徒の割合が低い。新聞を読むことのよさを考えさせるとともに、新聞を活用した言語活動を充実させる必要がある。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- ・ タブレットなどのICT機器を活用して、学習を進めることができると回答している生徒の割合が高い。今後**も**生徒会活動などでも活用の機会を増やしていく。
- ・ 「自分の考えを発表する機会では自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫していた」と回答している生徒の割合が高い。今後も文化祭でのビブリオバトルや校外学習の発表など、表現する活動を継続していく。
- ・ 生徒の自己肯定感や自己有用感をさらに高めていくため、学校生活や教育活動の様々な場面で、生徒・職員ともに認め合える機会を増やしていく。
- ・ 「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と回答している生徒の割合が高く、今後も誰にでも相談できる体制を構築していく。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ・ 朝食を毎日食べているなど、基本的な生活習慣は身に付いていますが、起床時刻に比べて就寝時刻にはばらつきがあるようです。今後も規則正しい生活リズムの確立に向けて、家庭でのご協力をお願いします。
- ・ 「地域や社会をよくしたい」、「地域に体験活動にかかわってもらった」と回答している生徒もいます。地域ボランティアの募集もありますので、家庭の後押しとサポートをお願いします。
- ・ 心の成長には、学校・家庭・地域の連携が必要です。周りの大人が子どものよい行いや頑張りを認め、ほめ、元氣付けるよう働きかけをしていきましょう。よろしくお願いします。